

平成 28 年度～平成 29 年度（2016～2017 年度） CEGLOC 外国語教育部門 活動報告

CEGLOC 外国語教育部門長 白 山 利 信

2015 年 4 月にグローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)が発足し、3 年目を終えようとしている。旧外国語センターを引き継いだ CEGLOC 外国語教育部門は、平成 28 年度から平成 29 年度にわたって、英語セクション、初習外国語セクション（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語）ともに教育の質を保証していくための活動に真摯に取り組んだ。

以下に外国語教育部門の主な取り組みをまとめ、活動報告として紹介する。

1. 平成 28 年度（2016 年度） CEGLOC 外国語教育部門 実績報告
2. 平成 29 年度（2017 年度） CEGLOC 外国語教育部門 活動報告
3. 平成 29 年度（2017 年度） 公開講演会および FD 研修会の記録と要旨
4. 平成 29 年度（2017 年度） 海外研修記録
5. 平成 29 年度（2017 年度） 教育戦略推進プロジェクト支援事業報告

平成 28 年度（2016 年度）実績報告書

CEGLOC 外国語教育部門

1. 概況

CEGLOC 発足から 2 年目を終えた。再編に伴い新組織移行に係わる一定の混乱が危惧されたが、そうした問題は特に生じなかった。非常勤講師枠の削減や定年退職による人員削減などに対して、英語セクション及び初習外国語の各セクションは、カリキュラム上の工夫による合併クラスの組織や関係教員による献身的な相補的バックアップ体制などにより、授業運営に支障をきたすことなく適切に対応した。また海外語学研修にも注力した。教員の一層の資質向上を目指す FD 研修を実施した。全学的な教育施策として実施している TOEFL 対策講座についても強い責任感を持って着実に取り組んだ。

全体として、学生に対する教育の質保証という意味で、前年度に匹敵するパフォーマンスを維持できたと総括できる。したがって、平成 28 年度についても、本学の「教養教育スタンダード」の理念と目標に則った外国語教育活動を計画通りに展開できた。

2. 教育

(1)英語教育については、CALL システムを活用した授業を推奨し、積極的に展開した。TOEFL ITP の受験率向上に向け、同テストを平成 28 年度に 3 回実施した（1 年次生、3 年次生、人文・文化学群および社会・国際学群生対象）。また職員の英語力アップを目的として、CALL 使用法、マルチメディア教材や e-ラーニング教材の活用法について説明会を実施した。また、外国語教育部門の教員を対象に、「学術目的の外国語」、「学習動機」をめぐる FD 研修会を公開で行った。こうした取り組みは、CEGLOC の英語教育及び初修外国語教育の質を高い水準で維持していくうえで有効である。

(2)単位取得を伴う海外語学研修では、夏期に英語研修（オックスフォード大学）、ドイツ語研修（パイロイト大学）、フランス語研修（グルノーブル大学・サンテチエンヌ大学）、中国語研修（湖南大学）に加えて、ロシア語研修がロシア連邦サンクトペテルブルグ大学とキルギス共和国在キルギス日本人材開発センターの 2 カ所で行われた。また春期でも、フランス語研修（サンテチエンヌ大学）、中国語研修（上海華東師範大学）のほか、新規にロシア語研修（カザフスタン共和国カザフ国立大学）が実施された。いずれの取り組みも国際舞台で活躍するための実践的コミュニケーション能力を伸ばす教育活動であり、本学が目指すグローバル人材育成に寄与するものである。

(3)平成 28 年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業」の一環として 2017 年 1 月 17 日に第 3 回トライリンガルデー（ドイツ語・フランス語・スペイン語）を開催し、

トライリンガル学習の意義をアピールし、国際的な基準に基づく実践的な外国語運用能力習得への意識を高めるための啓発活動を推進した。

3. 研究

(1) CEGLOC 外国語教育部門の定期学術誌である『外国語教育論集』第 39 号を刊行した。その中で 6 本の研究論文と 5 本の研究ノートが発表された。

(2) ロシア語セクションから『実践キルギス語入門』（監修：白山利信、著者：松下聖、スバゴジョエワ・アセリ）を刊行した。本書に関する問い合わせが複数件寄せられ、東京外国語大学や愛知県立大学などの専門家に無料提供した。

(3) CEGLOC との共催により、外国語教育メディア学会関東支部第 137 回研究大会を 2016 年 12 月 10 日に盛大に開催した。小野雄一（筑波大学助教）が会場校責任者として大会の組織・運営を統括した。こうした研究学会との共催事業は、研究大学としての本学の使命にも合致し、大きな社会的意義を有している。

4. 社会連携

(1) 本学 Ge-NIS プログラム（大学の世界展開力強化事業）と連携して、當作靖彦氏（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）や大野正美氏（朝日新聞記者）などの有識者を招聘し、計 6 回の公開講演会を開催した。こうした講演会を公開化することで地域社会にも寄与した。

5. その他の業務運営等

(1) 平成 31 年度から実施される SF ターム教育・学位プログラム制移行に向けて、英語及び初修外国語の固定時間割を確定する調整業務を行った。磐崎弘貞 CEGLOC 長及び小野雄一英語セクション長を中心として SF ターム教育における英語カリキュラムの改革案の検討を行った。また、SF ターム教育・学位プログラム制移行後の共通科目「外国語（初修外国語）」の履修単位数について、必修科目と位置付けている人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群の組織長に対してアンケートを実施した。

6. 課題と展望

(1) 定年退職者や転出者が出て後任の補充がなされないという人文社会系の方針による組織運営が続いており、授業運営という点でマンパワーが限界に近づきつつある。さらなる創意工夫をし、外国語教育部門関連の業務を効率化していかなければならない。

(2) もはや常態化している経費削減のもとで、英語および初習外国語の教育実施体制を維持する一方で、教育の質保証を担保していくために、新規採用の人事については勤務条件も含めて戦略的・長期的な見地から可能な範囲で見直していく必要がある。

(3) CEGLOC は、現在人文社会系の下部組織として位置付けられているが、全学の共通科目「外国語（英語、初修外国語）」を開設し、適切に運営していく義務と使命を持っていることを鑑みると、非常勤講師予算の配分についても学群や大学院のそれとは根本的に条件が異なるので、非常勤講師予算の削減や常勤教員の人員削減に対して明確な下限を設ける必要がある。

(4) 今後も続く厳しい財政を踏まえ、これまで以上に外部資金の獲得に注力しなければならない。企業からの研究寄附金や寄付講座、企業との共同研究を通じて得られる研究資金の確保に一丸となって努めることが、今後の大きな課題である。

今後も引き続き、学内の変化動向を注視しながら、本学の教養教育としての外国語教育の理念・目標を踏まえ、中長期の目標、短期の目標を着実に遂行していきたいと考えている。

2017年度（平成29年度）活動報告

1. 教育

- (1) 新入生英語プレースメントテスト（4月10日）
* 1年次生対象 TOEFL ITP テスト
- (2) 春学期期末試験（AB モジュール 6月27日～7月3日）
（ABC モジュール 8月2日～8月8日）
- (3) 中国語研修（湖南大学、9月1日～9月18日 2名）
- (4) 英語研修（オックスフォード大学、8月26日～9月17日 7名）
- (5) ロシア語研修（サンクトペテルブルグ大学、9月4日～9月27日 10名）
- (6) ロシア語研修（キルギス民族大学・キルギス日本人材開発センター、
9月2日～9月27日 4名）
- (7) 2学期入学者プレースメントテスト（9月29日）
- (8) 秋学期期末試験（AB モジュール 12月20日～12月26日）
（ABC モジュール 2月5日、2月9日～2月15日）
- (9) ロシア語研修（カザフ国立大学、2月17日～3月11日 5名（予定））
- (10) 中国語研修（上海華東師範大学、3月4日～3月25日 15名（予定））

2. 会議・委員会

- (1) 外国語教育部門担当者連絡会議（4月13日、5月11日、6月7日、7月6日、
10月4日、11月1日、12月6日、1月10日、2月7日（予定）、3月7日（予定））
- (2) 外国語教育部門人事計画室会議（5月26日、6月28日、7月26日、10月25日、
11月22日、12月27日（予定）、1月24日（予定）、2月28日（予定）、
3月28日（予定））
- (3) 外国語教育部門会議（4月26日、7月6日、11月1日、2月7日（予定））
- (4) CEGLOC 企画調整部門会議（4月12日、5月10日、6月7日、7月5日、
10月4日、11月1日、12月6日、1月10日、2月7日（予定）、3月7日（予定））
- (5) CEGLOC 運営委員会（4月19日、11月1日、1月17日）
- (6) CEGLOC 全体会議（6月7日、12月6日、1月10日）
- (7) 『外国語教育論集』編集委員会

3. 平成29年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業」

- (1) 第4回トライリンガルデー（ドイツ語・フランス語・スペイン語）
テーマ：Meeting of Languages ― 言語の出会い
日時：2018年1月24日
オーガナイザー：ジャクタ・ブルノ（筑波大学助教）
協力教員：武井隆道（筑波大学教授）、シュミット・マリア（筑波大学准教授）、
サノーニ・パオラ（筑波大学非常勤講師）、菱山アディエネ（筑波大学非常勤講師）

4. 研究大会

- (1) 日本言語政策学会・筑波大学 Ge-NIS プログラム共催
第1回 公開ラウンドテーブル (CEGLOC との協力)
題目：東京オリンピック・パラリンピックと言語政策
—企業のハイテク言語サービスのあり方とその課題を考える—
日時：2017年9月27日
場所：筑波大学東京キャンパス
司会・討論者：白山利信 (筑波大学教授)

5. 講演会

- (1) 2017年度 CEGLOC 主催 新入生に贈る公開講演会
題目：グローバル時代を生きるためのヒント
—言語能力と異文化理解を高めることの大切さ—
日時：2017年5月9日 (火)
講師：白山利信 (筑波大学教授)
担当：企画調整部門
- (2) Ge-NIS プログラム主催公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」
(CEGLOC との協力)
題目：日本人とキルギス人—文化的類似性を考える—
日時：2017年5月29日 (月)
講師：伊藤広宣 (キルギス共和国ビシュケク人文大学学長補佐)
協力：CEGLOC 社会貢献委員会
- (3) Ge-NIS プログラム主催公開講演会 (CEGLOC との協力)
題目：文学を通して垣間見える世界観
—チャーホフとシェイクスピアの日本語訳を例に—
日時：2017年6月9日 (金)
講師：ストリジャック・ウリアナ
(ロシア国立高等経済学院日本研究プログラムリーダー)
協力：CEGLOC 社会貢献委員会
- (4) Ge-NIS プログラム主催日本語・日本文化研修キャリアセミナー
(CEGLOC との協力)
題目：日本語学習者の強みと仕事をどうつなぐか
日時：2017年12月12日 (火)
講師：森田 光 (株式会社 ASISAI 代表取締役)
協力：CEGLOC 社会貢献委員会

6. FD 研修会

- (1) 第8回 CEGLOC FD 研修会
 テーマ：外国語教育における動機づけ
 日時：2017年6月21日（水）
 ゲストスピーカー：Joseph Shaules (PhD) (faculty of International Liberal Arts, Juntendo University) 「脳の抵抗—なぜ学生の動機減退が正常であるのか（そしてそれについて何をすべきか）」
 担当：ジャクタ・ブルノ（筑波大学助教）、CEGLOC FD 委員会
- (2) 第9回 CEGLOC FD 研修会
 テーマ：外国語教育における教材開発
 日時：2017年7月10日（月）
 講師：花井善朗（ウイスコンシン大学オシュコシュ校 准教授）「日本語初中级コース再考と教材開発 高等教育における外国語教育の役割」
 担当：ジャクタ・ブルノ（筑波大学助教）、CEGLOC FD 委員会
- (3) 第1回筑波大学 CEGLOC カンファレンス
 テーマ：アクティブラーニングとオーラルコミュニケーション
 日時：2017年12月9日（土）
 担当：ジャクタ・ブルノ（筑波大学助教）、CEGLOC FD 委員会

7. 留学説明会

- (1) オックスフォード大学夏季語学研修プログラム説明会
 日時：2017年5月1日、5月8日、5月29日
 担当：久保田章教授
- (2) 留学フェア（グローバルコモンズ主催） CEGLOC ブース
 日時：2017年10月25日（水）
 担当：池田晋助教、CEGLOC 事務室

8. TOEFL

- (1) 学群1年次対象 TOEFL ITP テストの実施 *英語プレイスメントテスト
 日時：2017年4月10日（月）
 担当：企画調整部門、CEGLOC 事務室
- (2) TOEFL テスト説明会
 日時：2017年4月26日、5月10日、6月14日、10月18日、11月20日
 担当：CEGLOC、グローバルコモンズ共催
- (3) 学群3年次対象 TOEFL ITP テストの実施
 日時：2017年5月20日（土）
 担当：企画調整部門

- (4) 学群3年次対象 TOEFL ITP (追加テスト) の実施
日時：2017年11月28日(火)
担当：企画調整部門

9. 見学受入

- (1) 山梨県山梨学院高等学校
日時：2017年5月12日(金)
担当：野田技術専門職員
- (2) 栃木県立茂木高等学校総合学科2年
日時：2017年5月26日(金)
担当：野田技術専門職員
- (3) 新潟県立柏崎翔洋中等教育学校普通科2年
日時：2017年7月25日(火)
担当：野田技術専門職員、金谷特任研究員
- (4) 富山県立砺波高等学校普通科2年
日時：2017年8月24日(木)
担当：野田技術専門職員、金谷特任研究員
- (5) 千葉県立柏高等学校普通科・理数科1・2・3年
日時：2017年9月13日(水)
担当：金谷特任研究員
- (6) 常磐大学高等学校1年
日時：2017年9月22日(金)
担当：野田技術専門職員
- (7) 札幌第一高等学校普通科1年
日時：2017年9月29日(金)
担当：野田技術専門職員
- (8) 群馬県前橋育英高等学校 1学年普通科1類特別進学クラス文系
日時：2017年10月12日(木)
担当：野田技術専門職員
- (9) 埼玉県立坂戸高等学校1年
日時：2017年10月13日(金)
担当：野田技術専門職員